

色見本帳を作ろう

自宅学習が始まり、早くも2週間を過ぎました。各教科から提示された学習課題には順調に取り組めているでしょうか？ いよいよ退屈してしまっている人も多いのでは…というのが懸念されるところです。

さて、家庭での過ごし方をサポートするかたちで公開している本サイトですが、今回のコロナ禍では、5月7日以降も休校措置が継続されたり、あるいは解除後にさまざまな理由で休校措置期間が再度設けられたりと、「安定的に継続した登校を伴う学習」というのが困難な状況下にあるというのが正直なところです。美術科では、そうした状況を鑑み、今後は家庭で取り組んだ学習課題の作品やレポートといった成果物を評価の対象とすることも視野に入れて発信をしていく予定です（先日 文科省からもそのような取り扱いを周知する旨の通達が届いています）。

なお、広田中学校における正式な取り扱いは、後日改めて「あんしんネット」等を通じてのお知らせになるかと思います。先述の内容は、あくまでも現段階（令和2年4月27日）での教科としての見解であることをご了承ください。

本題へ移ろう

というわけで、提出&評価を伴う課題 第一弾！

提出日については今のところ未定です。（印刷うんぬんの状況が把握できて以降に連絡）

今回は全校生で協力をして、色見本帳を作りたいと思います。担当は1人1ページ。色見本とは、さまざまな色を集め、分類整理したもので、見本帳はそれらをとじて作った冊子になります。つまり、1人1色1ページ制作したものを、1冊の書物にとじてしまおうというわけです。色については分担を決めるわけではないので、誰かとかぶることもあるかもしれませんが、そこは記事の内容、作り込みでオリジナリティーのあるものに仕上げてください。

制作について

制作は

①手書き

②資料（写真や印刷物）の貼り付け を基本としてください。

色の選択は「実は思い入れのある色」「今回の調べ学習で初めて知った色」など自由ですが、「一般的によく知られている色」を選ぶ場合は、記事の内容を工夫し、読み手にとって魅力あるものにしましょう。また、全体としての統一感を持たせるために、書式をある程度そろえます。別ファイルの見本を参照して取り組んでください。

なお、現在多くの図書館が閉館中ですので、インターネットを活用して情報収集を行う場合が多いかと思います。1つのサイトの内容を鵜呑みに、あるいは丸写しするのではなく、いくつかの情報源をあたるようにして、内容の取捨選択をするようにしてください。